

第3次久山町総合計画素案に対する  
パブリックコメント（意見募集）結果報告

1. 実施期間 : 平成24年1月20日～2月3日
2. 意見募集方法 : ○ 町公式ホームページへの掲載  
○ 町役場への設置（閲覧）
3. 意見提出件数 : 6名（意見件数：24件）
4. 意見の主な内容及びとりまとめ状況

NO	ページ及び項目	意見・提案の内容	意見等に対する対応について
1	基本計画 P.3 健康福祉について	<p>○久山町生活習慣病予防健診 50 周年記念式典の講演の中で「生活習慣病から認知症に対する予防法は運動が一番効果的、さらに食事の質の改善が大事」とお話をしていました。そこで以下の内容の追加を提案します。</p> <p>P.3 現況と課題内の文章 2 行目以降（以下、追加文に下線）</p> <p>「～特に、成人・高齢者の生活習慣病や<u>高齢化による認知症</u>に対する予防策として～」</p> <p>P.3 施策の展開方針「1. 町民のヘルスアップ（健康増進）活動の推進」内 4 行目以降</p> <p>「○生活習慣病・<u>認知症の予防に効果的な食生活の改善、運動指導、緑道等の活用による健康教育を推進</u>します。」</p>	<p>○ご提案頂きました「認知症の予防」は、高齢者の介護予防における重点課題と認識しております。この点については、P.9「3. 高齢者が活躍するまちをつくる」の中で施策の展開方針として「高齢者の健康づくり」を掲げ、認知症予防に向けた健康教育の実施の中でご提案の内容を記載しております。</p> <p>○認知症予防に運動が効果的であるというご意見は P.3 に記載されている「ヘルスC&amp;Cセンター等を有効に活用し、年代に応じた健康増進プログラムの充実」を実施していく上で参考にさせていただきます。</p>

NO	ページ及び項目	意見	とりまとめ状況
2	基本計画 P.21 国際交流について	<p>○施策の展開方針の「3 国際交流の推進」に記載されている内容は現況と課題にある「～さらに国際交流機会を拡大していくことが求められます。」等の内容と乖離があると思います。</p> <p>○計画素案では国際交流の推進とありますが久山中学校の韓国白石中学校への修学旅行での交流だけでは国際交流の拡大にならないと思います。町民一人ひとりが国際理解を深めたような文化を理解するには、学校教育だけでなく、例えば、福岡県が取り組んでいるアジア太平洋こども会議での海外の小学生のホームステイなど異文化との交流のチャンスはあると思います。子どもたちにも国際感覚を自然に身につく希望の持てる基本計画であってほしいと思います。</p>	<p>○これからの国際化に対応できる子ども達を育成することは町の将来に向けた大事な取組みであると理解します。</p> <p>○ご提案頂きました施策の展開方針「3 国際交流の推進」の内容の充実につきましては、ご意見をふまえ、教育振興基金を活用した、青少年の海外留学に対する支援を行うなど、子ども達の国際交流の充実に向けた施策内容を追加していきたいと考えます。</p>
3	農業振興について	<p>○久山町の農業特産づくり 町の未来像として趣味園芸・加工を活かした営農・産業振興が大事である</p>	<p>○町の農業を持続して発展させていくためには、付加価値の高い農産特産品づくりは重要な施策であると考えています。</p> <p>○基本構想 P.23 のまちづくりの基本戦略、基本計画 P.34 の施策の展開方針「特産品開発等による持続できる農業づくり」の中に記載されています。</p>

NO	ページ及び項目	意見	とりまとめ状況
4	学校教育について	<p>○世界の中の日本教育で、資質向上、リーダー育成のため、久山中学校、公立高校の中高一貫教育をすべき。人口減少社会で未来の元気な日本をつくる教育環境は大切である。</p>	<p>○学校教育の充実まちづくりの重要なテーマであり、町としては町内の幼・小・中の連携した指導体制による継続的効果的に子どもの成長を支える教育を推進していきたいと考えています。この点については、基本計画 P.14 の施策の展開方針「学校教育内容の充実」に掲げています。</p> <p>○公立高校との連携した中高一貫教育については、具体的な取組みが進んでおりませんので計画に反映はできませんが、上記に示しました幼・小・中の連携した教育と含め、今後も連携を図っていきたいと考えています。</p>
5	地震・災害復旧について	<p>○平成 23 年 3 月の東日本大震災で被災地・被災者に対して国民として気の毒であると思います。久山町でも過去 3 月 20 日の震災で道路壁、田んぼの中の断層、破壊、亀裂等、復旧すべき場所が修復されていません。早急な条例等による災害復旧を行い、農業環境等、再生しなければならない。</p>	<p>○東日本大震災以降、地域の災害に対する危機管理意識は高まっており、本町においても防災対策の強化や老朽化した公共施設の耐震化など災害に強いまちづくりを進めていきたいと考えています。この点については、基本計画 P.30 の施策の展開方針「防災・消防体制の充実」に掲げています。</p> <p>○町内における災害復旧すべき箇所については、上記に示しました災害に強いまちづくりを推進する事業を通じて対策を進めていきたいと考えます。</p>

NO	ページ及び項目	意見	とりまとめ状況
6	広域交通について	○新幹線基地拡大による鉄道駅構想が久山町の発展、県民幸福度達成となる計画として考察される。	○鉄道駅を持たない本町にとって公共交通の利便性の向上は住民の暮らしを支える重要な課題であり、町民ニーズに対応した公共交通体系の整備に取り組んでいます。この点については基本計画 P.24 の「2. 道路・交通基盤の整備」に掲げています。 ○新たな鉄道駅構想については、現在の段階では計画はありません。
7	健診について	○新聞記事で、「久山町研究」のデータを活用して、10年後の発症リスクをはじき出す計算式を構築・実用化という内容が紹介されていました。久山町の健診でも活用されれば40歳代の人達の受診率の向上と健康に取り組む意識改革が図れると思います。	○町民の健診受診率の向上は重要であり、基本計画の中で目標指標に掲げ取り組むこととしています。頂きましたご意見については具体的な取組みになりますので、今後の健診活動の中で活用させていただきます。
8	将来人口について	○基本構想 16 ページの将来人口推計では10年後の平成32年の人口は、25年後には約10,000人となると推計されている。しかし、将来人口フレームでは13,500人に設定し、当面は10,000人を目標として施策を推進するとなっている。これは日本全体の人口減少社会の推移からみて大変厳しい数字であるが、これに対する人口増に対する計画素案（施策の展開方針）を示すべきではないか。例えば、人口増対策のための企業誘致、雇用創出対策など。	○将来人口フレームは今後、久山町の行財政運営を持続させていくために必要な人口数であり、また、今後の都市計画を進めていく上で必要な目標設定として数値として設定してあります。 ○今後、この将来人口の増加に向けて取り組むべき施策については、優先的に取り組むべき「重点プロジェクト」として基本構想 P.24 に施策の内容を示してあります。ご提案にありました企業誘致、雇用対策は重点プロジェクトには掲げておりませんが、定住促進を図る上で大事なテーマであり、産業振興の中で計画的に取り組んでいきたいと考えています。

NO	ページ及び項目	意見	とりまとめ状況
9	基本計画 P.17～18 スポーツ振興について	○今後、整備される総合運動公園（上久原）の活用を含め、現在の町主催3スポーツ大会を見直し、数年に1回幅広い年齢層が参加できる町民運動会の開催にしてみたいか。	○基本計画では、幅広い年齢層が参加できる大会・イベントを実施していくこととしており、今後の取組みを検討していく中で、頂きましたご意見を参考にさせていただきます。
10	基本計画 P.27 定住促進（婚活）について	○施策の展開方針「1. 住宅供給と定住促進に向けた環境整備」の中に「婚活の推進」として、「未婚男女の交流企画を県とタイアップして継続推進します。」と追加する。	○婚活事業については、定住促進対策として、現在取組みが進んでいる事業であります。具体的な取組みになりますので新たに施策項目として掲げることにはできませんが、「1. 住宅供給と定住促進に向けた環境整備」の（2）定住促進の取組みの一つとして計画に反映したいと思います。
11	基本計画 P.33 農業について	○農林業に悪影響を及ぼす有害鳥獣駆除のため、狩猟免許取得者の育成を図りますという内容を追加する。	○有害鳥獣の駆除等の対策については計画に記載しております。頂きましたご意見は具体的な取組みになりますので今後の取組みを検討していく中で、参考にさせていただきます。
12	基本計画 P.36 農業について	○施策の展開方針「1. 森林保全型林業の振興」の中に「人工林の自然林の回帰事業」として、「現在の木材価格の低迷、林業労務者の高齢化・後継者不足、有害鳥獣対策として、一部人工林を自然燐（雑木等）への回帰事業を推進します。」と追加。	○森林の保全・再生に関しては、国・県事業を活用しながら進めております。頂きましたご意見は具体的な取組みになりますので今後の取組みを検討していく中で、参考にさせていただきます。

NO	ページ及び項目	意見	とりまとめ状況
13	基本計画 P.38 観光について	○施策の展開方針「1. 観光交流の環境整備」の中にある「～核となる交流拠点を整備します。」の次に「特に、参道整備を推進します。」を追加する。	○本計画では猪野地区周辺を観光交流ゾーンに位置づけ、地域資源を活かした交流活動を町民とともに進めることとしております。基本計画P.38「観光振興による交流拡大」では、この方針に基づいた観光交流事業の推進方向について記載しています。具体的な事業展開については、この方針に基づき、実施計画の中で計画していきたいと考えています。
14	基本構想全般について	○第1次は健康田園都市、第2次は心身ともに健康で豊かな田園文化都市づくりを理念としていたが、今回の第3次もそれらの理念を引き継ぎ、安心・安全な「健康が薫る郷」をキーワードによくまとまっていると思料します。	○健康なまちづくりは、長年、引き継がれてきた本町の普遍的な理念であり、今後も継続して取り組んでいきたいと考えています。
15	基本計画全般について	○実施計画については各分野別計画を反映させながら、事業の必要性や緊急性、費用対効果5カ年の見通しについて財政フレーム等を考慮しながら策定されたいと思料しますが、以下のことが計画に検討できないかお願いしたいと思います。 1) 歴史資料館建設：首羅山遺跡の調査も進んでおり歴史文化情報発信・交流の拠点として 2) 専門技術職員（土木等）：町民のニーズに対応できるよう	○今回の計画については、実効性の高い計画づくりをめざし、新たに目標指標を設定するなど、これまでの総合計画にない取組みを進めてきました。実施計画の策定においてもこの考え方にに基づき、計画策定にあたっていきたいと考えます。 ○歴史資料館の建設については、首羅山遺跡の調査の結果にあわせ検討していく予定となっています。 ○専門技術職員の増員の検討は進められていない状況ですが、各職員の専門性を高めていくため、研修機会等の充実を図っていきたいと考えています。

NO	ページ及び項目	意見	とりまとめ状況
16	基本計画 P.34 評価指標について	○営農者数を増やす目標指標は、日本全体で見ても農業従事者は減少の一途をたどっており、母数を増やすのは難しい。農業従事者1人あたりの生産性の向上や所得の向上を目標に掲げればよいのではないかと。または、母数は少ないので、キラリと輝く事業者（成功事例）を増やす視点やそれに向けた取組みも重要ではないかと。	○農業振興における目標指標については、ご指摘頂いた農業従事者の生産性向上を設定することも重要ですが、目標値として適正な数字を設定することが難しいと考えています。本計画では、農業振興の中核である認定農業者、営農組織の育成を重点においており、この点についてはご意見にありましたキラリと輝く事業者の育成と同意見であると考えています。
17	基本計画 P.34 ブランド育成について	○特産品を生み出すための仕組みづくりには、計画内でさほど言及がなかったように見受けられた。例えば、農業者と商工業者、更には若者、学生等のコラボレーションにより、新たな産品開発を実施していくような計画を記載してはどうか。 ○8,000人規模の町であるので、外からの知恵を借りるという発想も重要ではないかと。体験農園には福岡市東区等町外からも多くの参加があるようなので、体験農園と特産品開発を結びつけ、外部の知恵を借りた特産品開発を行ってはどうかと。	○特産品開発については、基本計画P.34「2. 特産品開発等による持続できる農業づくり」の中で農業と商工業の連携による開発について記載しています。若者や学生又は域外と連携した商品開発も大事な視点であると思いますので、今後の取組みを検討していく中で、参考にさせて頂きたいと思います。
18	ITの活用について	○ITを活用したまちづくり情報の発信についても検討が必要ではないかと。例えばフェイスブックを通じた町情報の発信等	○詳細な取組みについては実施計画の中で検討していきたいと考えます。ご意見に関連する点としては、現在、町のホームページのリニューアルを進めており、この中で、フェイスブック等への連携についても検討を行っております。

NO	ページ及び項目	意見	とりまとめ状況
19	具体的な動きにつなげるための工夫について	○計画の実現を担う「場」の設定について、まちづくり団体等の言及はあるが、具体的にどのような動きを活性化していくかが不十分であるように見受けられます。商工会や行政が音頭を取った「場」の提供の促進、具体的には各産業のキーパーソ的な人や一般市民等を巻き込んでのディスカッションの場の設定等をぜひ折り込んで頂きたい。	○計画推進に向けては町民と行政の連携だけでなく、町に関わる町外の幅広い人材との連携を進めていくことが重要であると考えています。この点については基本計画 P.43「4. 幅広い人材の交流・連携によるまちづくり」に掲げています。ご意見頂きました意見交換の場についても、本施策の取組みとして、各産業のキーパーソン等との懇話会等の実施を予定しています。
20	基本計画 P.10 障害者福祉について	○障害者の自立支援の記述で、「障害者が地域社会との交流を広げる場づくりを進める」とあるが具体的にどのようなことを想定しているのか。 ○主要事業にある「障害者の自立支援」「地域生活支援事業」とはどのようなものか。	○現在、障害者のイベントへの参加や公園等への外出に対する支援事業の取組みを行ったところであり、来年度から更なる強化を計画している。その事業経過を踏まえ、発達障害者も含めた同支援を行い、居場所づくりの拡大に繋げることを想定している。 ○障害者の自立支援事業については、介護給付や訓練等給付、自立支援医療、補装具への給付が事業内容となっています 地域生活支援事業については、日常生活用具の給付や移動支援等が主な事業内容となっています。
21	園芸療法について	○園芸セラピー、園芸療法が注目されている。障害者や高齢者を対象として今後、久山町の福祉事業の中で農業と連携した新たな取組みとして検討、研究することを提案したい。	○ご提案の取組みについては、町ではまだ研究されてはいませんが、健康なまちづくりを進める中で検討すべき内容であると考えます。今後の取組みを検討していく中で、参考にさせて頂きたいと思っております。

NO	ページ及び項目	意見	とりまとめ状況
22	基本計画 P.17 スポーツについて	○健康都市久山として高齢者が気軽にできる新しい軽スポーツ種目を取り入れることを提案したい。	○基本計画 P.17 「2. スポーツ活動の充実」の中で高齢者が気軽にできる新しい軽スポーツとして、「ニュースポーツ等の導入」を記載しています。
23	森林事業について	○森林事業での追加項目として山菜等の栽培の調査研究を提案したい。	○ご提案の内容については詳細な事業になりますので、今後の取組みを検討していく中で、参考にさせて頂きたいと思います。
24	農業振興について	○認定農業者が町には10人おり、認定農業者の会がある。今後は、認定農業者の会が活発に活動することにより新たな農業後継者の相談役になったり久山町農業のけん引役に大きく貢献しなければならないと考えます。基本計画の中で方向性を打ち出し、活動の充実を図られることを提案する。	○認定農業者は町の農業をけん引する重要な人材であり、ご指摘の内容通りであると考えています。基本計画 P.34 「1. 農業の恵みを守り、高める」の中では、認定農業者の育成を重視し、目標指標として設定しています。認定農業者の会の活動については具体的な取組みになりますので記載はできませんが、「1. 農業の恵みを守り、高める」内の「1 農業基盤・農業経営の安定」の中で認定農業者の育成強化について計画に反映したいと思います。